

「生きる」とは何かを考える

- 一所懸命生きよう -

株式会社 開倫塾

林 明夫

(www.kairin.co.jp)

Q1)好きな言葉は何ですか。その意味は何ですか。

- (1)「ブルドック魂(だましひ)」 食いついたら離すな(中学校のクラス担任 岡田忠治先生)
- (2)「一所懸命」 一つの所で命を懸けるくらい熱心に(足利高校マラソン大会の合い言葉)
- (3)「一生勉強、一生青春」(足利市在住の書家 相田みつを)

Q2)どうしてこの職業に就こうと思ったのですか。

- (1)大学卒業後、司法試験の勉強中に学習塾や予備校の先生、家庭教師のアルバイトをしていて、「教えることの面白さ」を知る。
- (2)視察に行った刑務所で耳にした言葉「ちゃんと勉強していれば、こんな所に来なくても済む人ばかりなのに」。基礎教育の大切さを知り、学習塾で教えることも少しでも世の中のためになるかと思ったため。

Q3)仕事の内容はどのようなもので、仕事のやりがいと苦労はどのようなことですか。

- (1)学校の補習と受験。学力面での不足を補うこと。
- (2)「本人の自覚」を促し、自分で勉強する力(自己学習能力)を育成すること。

Q4)仕事をする中で一番気を使うことは何ですか。

- (1)相手の立場に立ってものごとを考えること。
- (2)相手とした約束を守ること。
- (3)事件、事故のないこと。

Q5)この仕事に就いてよかったことやつらかったこと、成功談や失敗談などを含めて教訓がありますか。あれば教えてください。

- (1)自分の行きたい学校(本人にとっての「一流校」)に進学し、元気に勉強し、社会に出てからも元気に過ごす塾生の話を聞くこと。(よかったこと)
- (2)タバコの吸い過ぎでガンになり、死亡した職員の葬儀に出たこと。
*もっと注意すればと、悔やまれた。(つらかったこと)

Q6)社員として一番必要とする人とは、また、必要としない人とはどのような人ですか。

- (1)相手の立場で考えられる人。約束が守れる人。明るく仕事ができる人。
- (2)き帳面でない人。欠席、遅刻、忘れ物が多い人。文句ばかり言う人。

Q7) 社会人として身につけてほしいものとは、どのようなものですか。(英語とコンピュータ、専門分野の深い知識は当然身につける。)

- (1)健康(心の健康、身体健康)を自分で管理する力。
- (2)世の中の動きを知るために新聞を毎日1時間以上読んで、考える力。本を読み、考える力。
- (3)勉強の仕方(自己学習能力)。(社会に出てからの方が勉強することは多い。毎日が勉強。)
- (4)多様性をそのまま受け入れる力。

*世界には、自分と違った所で生まれ、生活している人々がいます。行動の仕方、考え方が違って、驚いたり拒否したりせず、とりあえずはそのまま受け入れる。そして、トラブルなく人間関係を築き上げる力。

- (5)自律心(自分自身をコントロールできる力)。規範意識。美意識。
- (6)躰(しつけ) 美しい立居振舞い(たちいふるまい)、敬語表現を含む言葉遣い。
- (7)社会のルール(「道徳」と「法律」)

Q8) 中学生の頃の将来の夢は何であり、どのような生活をしていましたか。

- (1)弁護士か外交官になること。
- (2)部活動(柔道部)、生徒会活動。
- (3)中学校の同級生は一生の友達。(会った人は皆友達)

Q9) 中学生の時に、熱中したものがありませんでしたか。それは、どのようなものですか。

- (1)友達とよく話をしたこと。

Q10) 中学生の時の得意と不得意教科は何ですか。どのようにしたら得意になるのですか。また、不得意教科をどのようにして改善しましたか。

- (1)英語と社会と国語は、得意教科。教科書を手に入れたらどんどん予習。「わからないことをはっきりさせて授業に臨む」。授業後は、「音読」と「書き取り練習」。
- (2)数学と理科が不得意。数学は、教科書を予習、授業後はもう2~3回問題をやり直してから問題集を。「理科」は、学年別参考書で勉強。

* 実用英語検定は役に立った。

Q11) 中学校生活の中での楽しい思い出や失敗したこと等がありましたら教えてください。

- (1)修学旅行 (2)柔道部の対外試合(遠征) (3)集団縄跳び (4)合唱コンクール
- (5)陸上(100m走、200m走、800mリレー)の試合には出るが、練習しなかったのでは……。

Q12) 中学生の時にやっておいてよかったことは何ですか。また、やっておいた方がよいと思うことは何ですか。

- (1)本をよく読んだこと(図書館の利用)、新聞をよく読んだこと。
- (2)NHK ラジオ「基礎英語」、「続基礎英語」、「英語会話」での勉強。

*好きなスポーツや文化活動を1つずつつくること。

*卒業までに、クラスの全員と仲良くなること。

Q13) 中学生の時に、将来やりたいことを考えていましたか。また、高校を決める時に何を参考にしましたか。

(1) Q8)と同じ。

(2) 弁護士や外交官になれるような大学への進学者が多い高校を選択。

(3) 高校は勉強するためにいくところ。安易な選択をしない。

* 不合格にならないよう、睡眠時間以外は勉強する。高校に行っても勉強をし続ける。

Q14) 自分の夢を叶えるためにはどのようにしたらよいですか。中学生の頃は是非心掛けるべきものがありましたら教えてください。

(1) 自分の道は自分で切り拓(ひら)く。自分は何のために生きるのか、自分の社会的使命(mission ミッション)を明確に持つ。「世のため人のために生きることが、自分のためにもなる。」

(2) 目標達成のためには勉強あるのみ。勉強は、社会勉強も含む。自分以外皆「師」。「励まし合う仲間」を持つ。「師匠(ししょう)」と呼べる人を持つ。

(3) 「東京」の素晴らしさ、「日本」の素晴らしさ、「ASIA」の素晴らしさを知ること。

(4) 「より善く生きる」こと。

Q15) 今までで一番つらかったこと、楽しかったこと、思い出に残るエピソードはどんなことですか。

(1) つらいのは、「人の死」。親族の死、友人の死。健康第一。 いつまでも若々しく生きる

(2) 楽しいのは、一所懸命な人の姿を見ること。「自然と精神」に触れること。

以上

Q14) の追記

メモを取り続けること。取ったメモを何回も読み返して身につけること。

「書き抜き読書ノート」に、本を読んで気に入ったところを一行でもよいから書き抜く。それらを、折に触れて読む。

外国でも活躍を。英語を完全に身につけること。習った文章はすべて暗記(何も見ないで正確に書ける)。

「新聞日記」を。気になる事件の見出しを 10 書き抜く。その中の 1 つの記事を切り抜き、コメントをつける。